

「エコマネジメント長野」 ～率先実行事例集～



しあわせ
信州

率先取組事例

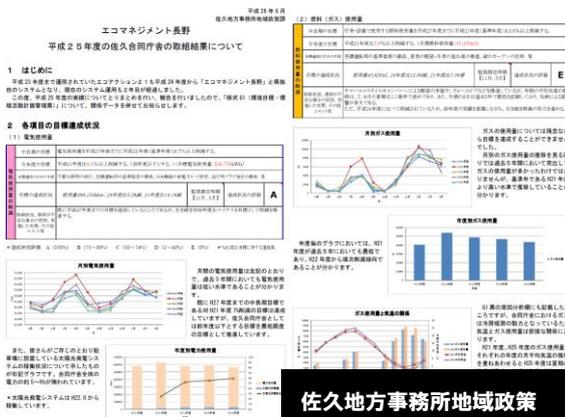
1 節電・省エネ運動「信州省エネ大作戦」への率先的な取組

節電・省エネルギーの構造的な定着を推進するため、県民総ぐるみの節電・省エネルギー運動「信州省エネ大作戦」に、県機関として率先的に取り組みました。

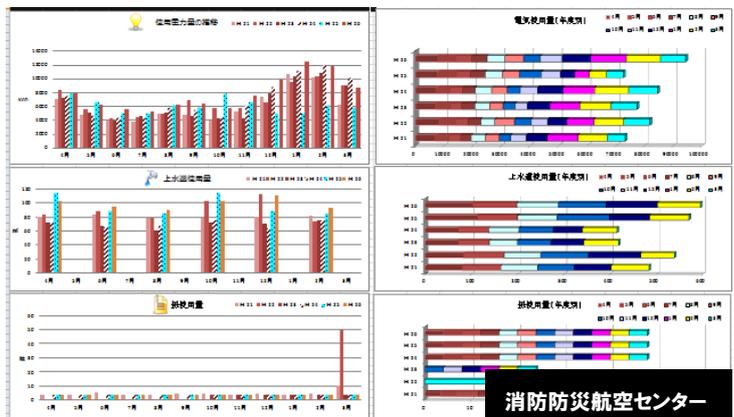
カット・シフト・チェンジの手法など各所属における意欲的な節電の取組により、夏季及び冬季の期間中の最大電力について、県機関の削減目標(H22 年度比夏季 12%削減、冬季8%削減)を達成しました。〔節電実績:夏季 21.8%削減(県庁)、20.9%削減(合同庁舎) 冬季:11.3%削減(県庁)、13.1%削減(合同庁舎)〕



2 エネルギー使用量のグラフ化・見える化・情報共有による取組意識の向上



佐久地方事務所地域政策



消防防災航空センター

佐久地方事務所地域政策課では、平成 25 年度の環境目標をもとに、各項目にグラフ化、分析を付して取組結果を作成し、合同庁舎内全所属に対し周知することで意識啓発を図りました。

消防防災航空センターでは、エネルギー使用量等調査票をもとに、各エネルギー使用量をグラフ化・見える化を周知することで所員の意識啓発を行いました。

松本深志高等学校では、「省エネルギーに関する取組」、「水資源に関する取組」、「節水、水の効率的利用に関する取組」、「交通に伴う環境負荷の低減に関する取組」の4ジャンルに区分し、それぞれのジャンルごとに目標を掲げ、合計 20 項目の目標をたてチェック表を作成し、節約に努めました。

松本深志高等学校の環境に対する取組 20 のチェックポイント

●省エネルギーに関する取組	1 事務室の照明は、昼間は、機密時には必要最小限の数を点灯する。
	2 ローター定や倉庫、使用頻度が低いトイレなどの照明は、普段は消灯し、使用時にのみ点灯する。
	3 空き教員になる時は、必ず照明やストーブを消すようにする。
	4 職務時など長時間使用しない場合は、必ずノートパソコンのふたを閉じる。
	5 コピー機等のOA機器は、使用後は省電力モードに切り替える。
	6 プライントやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節する。
	7 夏期における扇風機(サーキュレーター)、冬季における暖房など扇風機(サーキュレーター)の活用を、消電機の使用を促す。
●省資源に関する取組	8 コピー機は、枚数や紙大小の誤りなどのミスを防止するため、使用前に各目、設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットする。
	9 プリンターやコピー機で複製枚数の削減をする場合、原則として、両面印刷、可能な限り縮小・節約印刷とともに、トレイを使い分けるなどして、可能な限り裏紙(使用済みのコピー用紙)を使用する。
	10 印刷物を断る場合は、その頁数や部数が必要最小限の量となるように考慮し、残紙がないように配慮する。
	11 資料等は、各人が忘れられ残存することを防ぐ。再活用を図る。
●節水、水の効率的利用に関する取組	12 手洗い時、トイレ使用時、洗い物においては、日常時に節水を励行する。(洗剤物の排出抑制、リサイクル、適正給湯)
	13 使い捨て製品(紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等)の使用や購入を抑制する。
	14 再使用可能なリサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する。
	15 詰め替え可能な製品の利用や商品の修理等により製品の長期使用を促す。
	16 包装・梱包(段ボール等)の削減、再使用に努むる。
	17 廃棄物管理(エコポイント)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。
	18 廃棄物の最終処分先を定電
●交通に伴う環境負荷の低減に関する取組	19 公共交通機関の利用、公用
	20 共用自転車を導入して、近

松本深志高等学校



畜産試験場



工業総合センター



松本家畜保健衛生

畜産試験場では、掲示板に「エコマネジメント長野コーナー」を設置し、エネルギー使用量等をグラフ化し、掲示して職員の意識の向上に努めました。

工業総合センター環境・情報技術部門では、「環境掲示板」を設置し、エネルギー使用量のグラフ化や環境方針、環境標語を掲出し、職員等へ広く周知しました。

松本家畜保健衛生所では、廊下に掲示板を設置し、年度別・月別の電気・水道量使用状況をグラフ化・見える化、省エネに関する情報等を、掲示板に随時掲示し、職員の取組意識向上を図りました。

その他、環境エネルギーレポートを掲示するなど、エネルギー使用量の見える化・情報共有の取組は、危機管理部消防課、犀川砂防事務所、諏訪実業高等学校、上伊那地方事務所商工観光課、北信教育事務所、土尻川砂防事務所、上田食肉衛生検査所、上松技術専門校、阿智高等学校、ほか多くの所属で工夫した取組が行われました。

3 デマンド監視装置による電力需要の抑制

岡谷東高等学校、畜産試験場、上松技術専門校では、デマンド監視装置を導入し、ピーク電力の抑制に努めることで、最大電力及び電気使用量が削減され、経費削減にも繋がり、どのような時に最大電力を更新してしまうのか把握することができました。

工業技術センター食品技術部門では、電力監視システムを導入し、電力消費量が100kwを超えると警報が鳴るように設定し、警報が鳴った場合は空調の使用を停止する等、従前の最大電力量を超えないように対策をとっています。



デマンド監視装

4 LED照明の導入、節電の取組等



松代高等学校では、省エネの取組として、1学年5教室の照明のLED化を行い、電力削減を図りました。また、教室全体が明るくなり、先生方や生徒からの評価も高かったです。

体育センターでは、事務室照明の一括スイッチを個別スイッチに替え、使用頻度の低い場所の蛍光管を外すなどの節電を行いました。

アサガオやゴーヤなどを育成した「緑のカーテン」作りの取組が多く所属で行われました。夏季の直射日光を遮り、室内温度の上昇を抑える省エネ効果とともに、目にも涼しいグリーンカーテンは、職場環境の向上や来庁者へのアピールなど様々な効果が期待されます。

「緑のカーテン」では、一般的なアサガオの他にゴーヤやヘチマ、インゲン、キュウリ、ミニトマトなども植えられました。

期待どおりに育たなかった所属もありましたが、朝からきれいに咲いたアサガオは、職員や来庁されるお客様を癒してくれました。

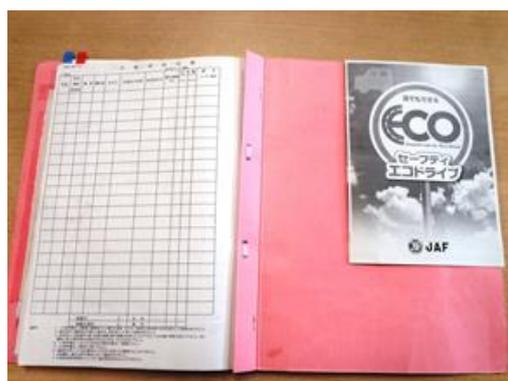
6 公用車燃料の削減

飯田家畜保健衛生所では、

- ・会議等の出張手段は「公共交通機関、他車相乗りを第一選択とし、公用車は最後の手段」の意識徹底。
- ・公用車2台のうち、燃費の良い方を優先使用（特に長距離）。
- ・エコドライブのための冊子（JAF）を用い、所内研修を実施、その後公用車使用簿に冊子を添付、エコドライブの啓発及び意識の維持・向上を図る。
- ・「エコドライブ講習会」に職員が参加、伝達講習を行い意識の維持・向上を図る。

以上を取り組んだ結果、走行距離・燃料使用量は減少、燃費は向上しました。

その他にも、諏訪地方事務所農政課では、25年度実績から公用車1台ごとの燃費を算出し、燃費の良いほうを優先的に使用するよう周知しています。



年度	走行距離 (Km)	燃料使用量 (ℓ)	燃費 (km/ℓ)
H25	23,936	1,948	12.29
H26	20,457	1,601	12.78

飯田家畜保健精製所 実績

7 紙使用量の削減

情報公開・法務課では、受信した電子メール文書について、文書管理システムの電子供覧の機能を利用して供覧を行っています。また、同じく文書管理システムの機能を利用し、紙による決裁ではなく電子決裁を活用しています。昨年度は、電子供覧を77件、電子決裁を66件行い、結果としてプリンター出力による用紙の削減、事務の効率化などの改善が図られました。



佐久農業改良普及センター



松本建設事務所



諏訪保健福祉事務所

佐久農業改良普及センターでは、裏紙利用を推進するため、裏紙が使用できる棚と両面使用済みの棚を分けて整理できるボックスを設置しました。（H26年度以前から継続中）

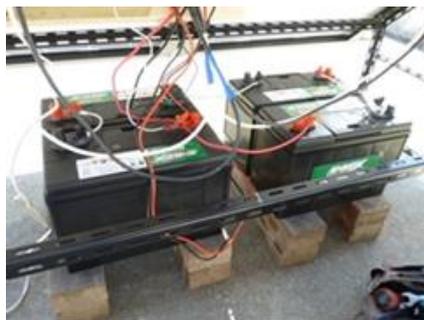
また、松本建設事務所では、裏紙を印刷用紙やメモ用紙、窓口業務での電話連絡票、日報などで再利用し、紙の使用量の削減に努めています。

諏訪保健福祉事務所では、使用済み封筒を専用の棚で保管し、再利用しています。

その他多くの所属で、室内のプリンター及び FAX に裏紙専用の給紙トレーを設定したり、裏紙利用、使用済み封筒の再利用、フラットファイル・ドツデファイルの再利用の促進を行っています。

8 太陽光発電設備等の導入と地域への普及啓発

自然エネルギーの普及促進を図り、持続可能な地域社会づくりを推進するため、県有施設への太陽光発電設備等の設置や地域への普及啓発を行っています。



松本建設事務所では、南管理棟の屋上にソーラーパネル2枚を設置し、バッテリー4ヶに電気を貯えながら扇風機を運転しました。太陽光発電のため、日中の日差しが強いときほど効力が発揮されました。

人体感知センサーを取付け、人のいないときは充電できるようにし、電力を有効活用いたしました。バッテリーに蓄えられた電力を表示し、利用者の皆さまが見ても楽しめる仕組みにしました。

その他、動物愛護センターでも、太陽光発電設備の導入に向けた取組として、「おひさま BUN・SUN メガソーラープロジェクト第2弾」の事業実施場所を、小諸養護学校とともに、屋根貸し太陽光発電事業者を公募し、事業者の選定を実施しました。(太陽光発電機器の設置時期は平成 28 年度の見込み。)



9 廃棄物排出量の削減

上小地方事務所環境課では、地球温暖化防止活動推進員、産業廃棄物処理業者、県廃棄物監視員を講師に招き、省エネや廃棄物の適正処理に関する研修を実施することにより、上小地域の事業所や現地機関の県職員の環境への意識向上を図りました。

また、丸子修学館高等学校では、ゴミ(不用品)として出たものを利用して、様々な物を製作し、再利用しています。



上小地方事務所環境課



鍵掛け



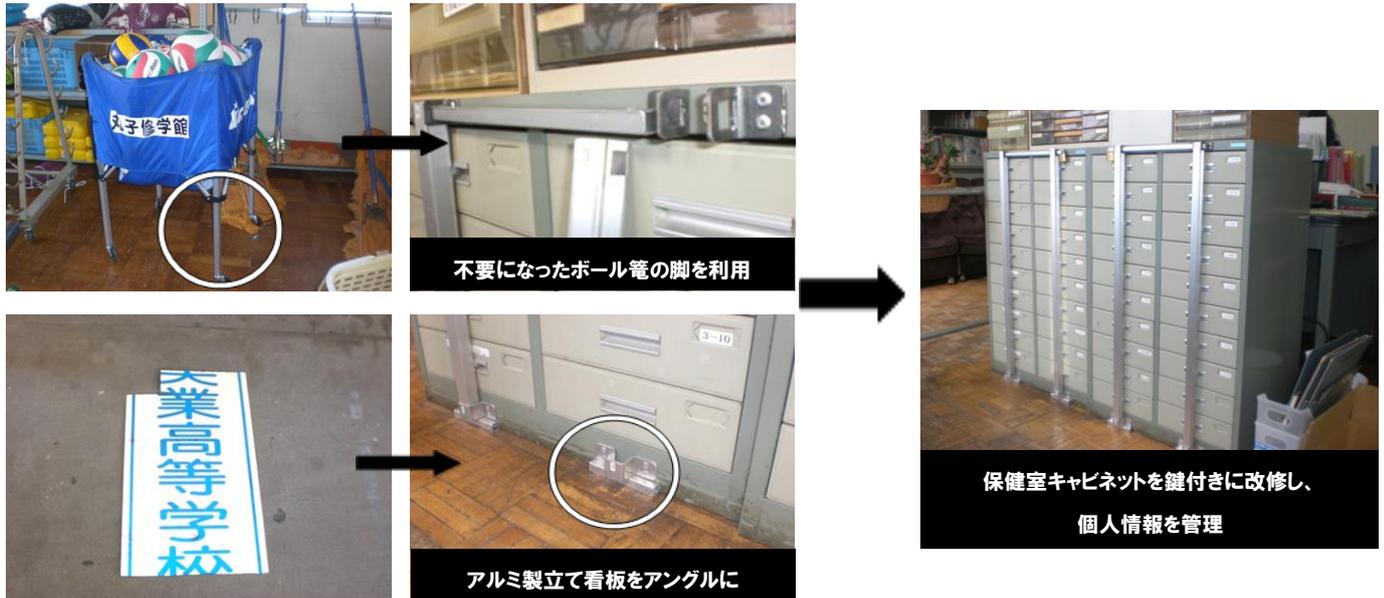
台車



スロープ

鍵かけ

特に、教室の机の天板は年間30枚程度交換します。3枚で 10 kg、30 枚で 100 kgの排出。机の天板としては利用できないが、頑丈な板としては利用価値があります。



また、不要看板の背面補強アングルを加工して、スライドカッターの部品を製作したり、不要になったテレビの取付金具を加工してトイレ排水枴蓋を製作するなど、ゴミの減量、経費の削減に努めました。

その他、ゴミの分別収集の徹底など、多くの所属が廃棄物排出量の削減に努めました。

10 環境保全の取組

各所属では様々な環境保全活動が行われています。



例えば、長野建設事務所では、H21 年度から「長野マラソン、長野車いすマラソン」のコースおよび沿道の清掃を大会前に実施しています。H26 年度は、トラック3台分のゴミが収集されました。

松本建設事務所では、信州スカイパークのイベント「FM 長野エバーグリーンキャンペーン」にて、環境浄化植物の植付けを行いました。他にも日常業務として、公園のゴミ拾いやトイレ清掃などを行っています。

また、定期的に公園の外周一斉清掃を実施するなど、周辺地域の環境美化にも取り組みました。

建設部砂防課では、砂防ボランティアと共に砂防施設



周辺(牛伏川/松本市)の草刈を行いました。

小諸警察署では、毎月9日を「クリーンの日」に指定し、出勤可能な所員による庁舎内外の清掃を実施しました。塩尻警察署、機動捜査隊、東北信運転免許課でも、清掃や花壇の手入れなど、良好な環境維持に努めました。

長野県で「信州 山の日」と定めた平成 26 年7月 27 日(日)に、国営アルプスあづみの公園(安曇野市)で山岳・林業関係者や家族連れおよそ 1,000 人が訪れ「信州 山の日」制定記念イベントが開催されました。制定記念式典は大いに盛り上がり、公園内でも、長野県木青連による親子木工教室や安曇野市の特産品の販売・信州ジビエ料理などの「山の恵み」に関連した展示ブースや「山の魅力を伝える」ための写真やパネルを展示し、家族連れを中心に多くの方に「信州 山の日」の制定の趣旨を知っていただき、山に親しむよい機会となりました。



